

さんようおのだ 議会だより

2014.11

25 年度決算認定 — 2

委員会レポート — 4

一般質問 — 7

議決結果 — 13



25年度 決算認定

新事業評価シートで 48事業を 重点的に審査

◆一般会計予算決算常任委員会

4日間かけて慎重に審査しました

常任委員会になって初めてとなる平成25年度決算について、9月8日から11日まで4日間にわたって慎重に審査しました。

■**新たな事業評価シート** 昨年の予算や決算審査をもとに抽出した事業評価100項目程度の中から、各会派で検討した事業を48項目に絞り込み、新しくなった「事業評価シート」をもとに重点的に審査しました。委員会終了後、各委員が5点満点で評価したものをまとめて執行部に提出しました。

■**自由討議と附帯決議** 課題のあった事業について委員間で自由討議を行い、7項目の附帯決議を全会一致で可決しました。

■**結論** 賛成多数により決算認定



●決算委員会での主な議論

若者交流事業に改善を求める声！

転入促進

新たに住宅を取得した転入者に、固定資産税分を奨励金として5年間交付するもの。

●25年度実績は57件だが、転入促進のためには市外だけでなく地元へのアピールやPR方法など、もっと工夫が必要との意見が出された。



まち歩きガイドマップ

「ふるさと塾」に委託して、市内7地域のまち歩きガイドマップを作成するもの。

●各地域にはすでに立派なガイドマップがあるうえ、作成されたガイドマップの内容にも委員から厳しい意見が相次いで出された。



若者交流

出合いを希望する若者支援のため、イベントを通じて出合いの場を提供するもの。

●4回開催82人の参加で「概ね好評」と言うが、主催側が60～70代で、事後の追跡調査がないなど、全委員が事業見直しを求めた。



豊かな体験活動

小学生に他市町で宿泊活動等を通じて、自然体験をさせるもの。(全額補助事業)

●25年度は出合小の児童が長門市に宿泊した。補助がなくても市単独でも実施するか、山村留学による受け入れをとの要望が出された。



附帯決議で提言

旧市町の一体化の醸成や定住促進策を！

一般会計予算決算常任委員会事業評価シート

評価委員名

対象事業	No.	事務事業名
------	-----	-------

項目 (5点満点)	評価点	評価内容						
		評価(3段階で評価)	○妥当・良好	△どちらともいえない	×要検討・不適当	○	△	×
妥当性	自治体間との妥当性	行政で行うべきか。他団体との役割分担は妥当か。						
	目的の妥当性	社会情勢、市民ニーズ等からみて、実施すべきか。						
	対象(受益者)の妥当性	対象とする範囲は間違っていないか。						
効率性	コスト効率	コスト面からみて実施方法は適切か。						
	実施主体の適正化	民間委託や指定管理者制度の導入等は可能か。						
	負担割合の適正化	コスト全体に占める負担(補助)割合は適正か。						
有効性	目標達成度	単年度目標は達成できたか。長期的な目標は達成できるか。						
	類似事業の存在	他事業とサービスが重なっていないか。						
	上位施策への貢献度	総合計画の上位施策の目標達成に貢献しているか。						

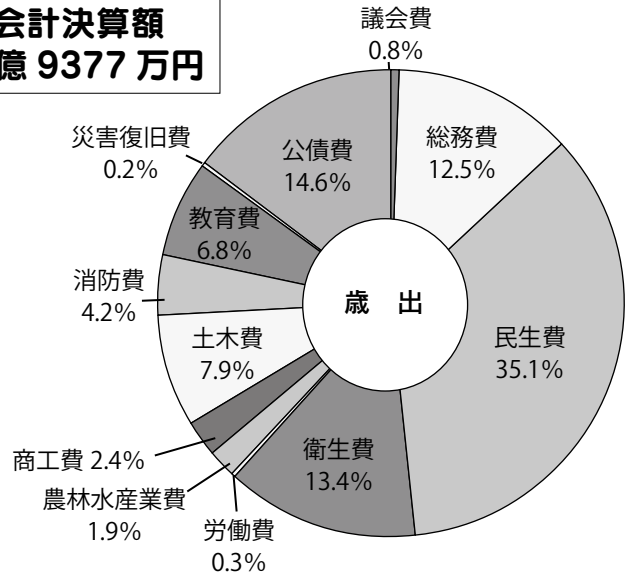
総合評価	評価点 (15点満点)	今後の方向性 (いずれかに○)	拡充	現状継続	見直し	廃止
------	----------------	--------------------	----	------	-----	----

特記事項(総合評価に対する特記事項・今後の方向性の理由など)

↑各委員が5点満点で評価した事業評価シート



一般会計決算額
262億9377万円



◎自由討議と委員の評価

委員会では執行部への質疑の後、先の4事業に加えて、以下の項目について議員間の自由討議も行いました。

- ◆観光懇話会設置◆二次救急医療体制支援
- ◆JR美祢線・小野田線利用促進◆地方バス路線維持対策◆江汐公園管理運営◆高齢者向け優良賃貸住宅整備◆放課後子ども教室

委員会終了後、各委員が評価表を作成し、集計して執行部へ提出しました。行政の評価に対して各委員の評価は総体的に厳しいものが多く、全委員が見直しすべきという事業もありました。

●附帯決議が可決されました

1. 合併10周年を迎えるに当たり、旧市町の一体化の醸成が図られる予算編成に取り組むこと。
2. 定住促進につながる有効な施策を展開するため、市全体で連携し、取り組むこと。
3. 自治会事務費補助金の明瞭な会計処理指導及び支出方法を明確にすること。
4. JR美祢線・小野田線の利用促進及び新幹線の利活用を図り、観光振興を含め活性化に努めること。
5. 附属機関と私的諮問機関の設置根拠等について明確にすること。
6. 適正なる人員配置を含め充実した組織体制の構築を図ること。
7. 事務事業評価のさらなる充実を図ること。



委員会レポート

■ 総務文教常任委員会

特別会計

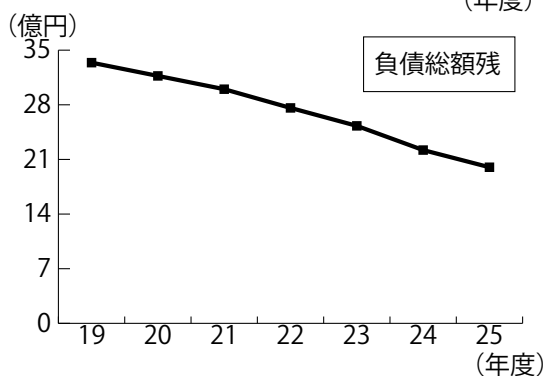
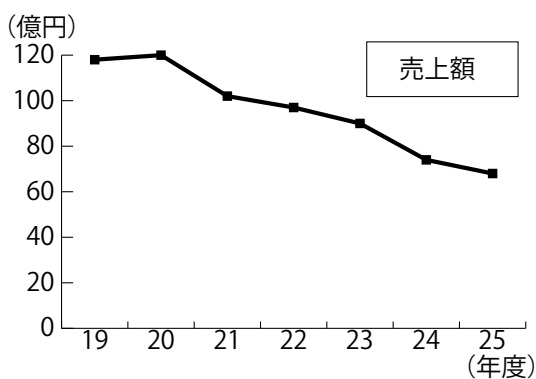
● 25年度オート事業決算認定

累積赤字は減少

概要 歳入 72 億 5296 万 2818 円、歳出 77 億 9357 万 7385 円で、25 年度末の累積赤字は前年度より約 1083 万円減の 5 億 4061 万 5000 円となりました。地域公益事業の主なものは、赤崎小学校の雨漏り修繕、なるみ園の屋根修繕、厚陽保育園のトイレ設置工事等です。

主な論点 「入場料の無料化による入場者数の増減はどうだったのか」の問いに「前年度対比 97% で減少はしたものの無料にしたことにより下げ幅を小さくしたとも考えられる。26 年度入場者は増えており、無料にしたことで徐々に効果が出ることも期待したい」との回答でした。

結果 全員賛成



所管事務調査

文化財の保管状況は

厚狭図書館内の文化財の現状や現在建設中の複合施設完成後の文化財の取扱いについて調査し、次のことが明らかになりました。

- ・郷土資料室には県指定の文化財等多くの貴重な資料が保管してある。
- ・文化財の保存管理状況は十分とはいえない。
- ・市民への展示が十分ではない。
- ・複合施設完成後の県指定文化財の取扱いは、県との協議が必要となる。
- ・複合施設での展示は市指定の文化財等を予定している。
- ・平成 30 年度を目途に歴史民俗資料館の改修を行う計画がある。

委員会としては、複合施設が完成した後も貴重な文化財等の適正に保存管理されているかについて、注視していきます。



↑ 厚狭図書館での視察の様子



委員会レポート

■ 民生福祉常任委員会

特別会計

● 25 年度国民健康保険会計決算認定

KDB システムで疾病分析

概要 歳入 78 億 8168 万 7137 円、歳出 75 億 5871 万 5533 円で差し引き 3 億 2297 万 1604 円の黒字決算となりました。KDB（国保データベースシステム）が稼動し、国保医療の疾病分析などができるようになりました。

主な論点 「医療費が高い理由は」の問いに「医療機関が多く、受診率が県下で 2 番目に高い」「入院費用の上位は新生物（がん等）22.2%、精神疾患が 16.7%。外来では循環器 16.5%、内分泌 15.8%。疾病別で一番多い糖尿病ではインスリン治療が 1 人年間 60 万円だが透析になると 600 万円と 10 倍の費用負担となる。生活習慣病対策が大きな課題となる」との回答がありました。

結果 全員賛成

企業会計

● 26 年度病院事業会計補正予算

事業費が約 9 億円も増加

概要 新病院建設関連 3 億 1494 万 7000 円を追加補正します。内容は旧病院のアスベスト除去のほか、新病院関連で外溝工事、防鳥対策、情報システム関連などです。経費増のうち 3651 万円は医療機器の移設費用の増加分です。

主な論点 「医療機器の移設費用増額の理由は」の問いに「当初の見込みが甘かった」「旧病院のアスベストが残っていたのはなぜか」

の問いに「調査はしたが、煙突まで調査しなかったことやアスベストの基準が変わった」また「事業費総額の増加は」の問いに「57 億 6600 万円が 66 億 6800 万円と約 9 億円増加した」との回答がありました。

結果 全員賛成

条例

● 子育て新制度に基づく 3 条例

保育制度が変わります

概要 子ども子育て支援法に基づき、措置制度から必要度による保育施策へ、根本から変わります。それに関連して幼稚園、保育所、認定子ども園など特定教育、保育施設等の運営に関する最低基準を定めるものです。

主な論点 「幼稚園、保育所で新制度に移行する施設は」の問いに「私立幼稚園は現状のまま、埴生幼稚園と公立・私立保育所はすべて新制度に移行する」「保育料の支払いはどうなるのか」の問いに「公立保育所への運営費補助が保護者への給付金に変わる。私立保育所は利用者は市と契約し、市に保育料を払う」「市独自の認定基準はできないのか」の問いに「国が示す準則どおりにしたい」との答弁がありました。

結果 附帯決議をつけて全員賛成





委員会レポート

■ 産業建設常任委員会

特別会計

◎ 25年度駐車場会計決算認定

利用台数は減少傾向

概要 厚狭駅南口の駐車場利用台数は3万3689台、昨年に比べて97%程度で減少傾向にあります。年間の使用料収入は2631万5450円で、公営企業金融公庫への償還金は1791万3979円です。この償還は平成30年度に終わる予定です。

主な論点 「料金改定についての考えは」との問いに「償還が終わる時期等を見計らって料金の値下げを検討していく」「身障者用の乗降場所が遠くて不便である」との指摘に対しては「抜本的に改修することは難しい。今後の検討課題としたい」との答弁がありました。

結果 賛成多数

◎ 25年度下水道会計決算認定

汚水処理施設整備構想を見直し

概要 平成25年度末の下水道普及率は51.7%、水洗化率は89.9%であり、いずれも県平均を下回っています。使用料は近隣市に比べ高いものの、一般会計から9億5200万円を繰り入れているのが現状です。収納率は現年度分で98.8%です。

主な論点 「使用料を下げるべきではないか」との問いに「市の財政全体を考えた時にこれ以上一般会計に頼ることはできない。現在の料金体系を維持したうえで効率的に事業を推進していきたい」「下水道が整備されていない地域にとってどのような方法がよ

いのか考えていくべきだ」との指摘に対しては「平成27年度に汚水処理施設整備構想を見直す中で公共下水、合併浄化槽等の果たすべき役割分担を考えていく」との答弁がありました。

結果 賛成多数

◎ 25年度地方卸売市場会計決算認定

取扱量、金額ともに減少

概要 野菜、果実、鶏卵その他加工品の取扱量が1825トン、取扱金額が4億8115万7000円であり、いずれも前年度に比べて減少しています。買受人も減少しており、納入先の拡大を図っていく必要があります。なお、運営補助金として一般会計から893万2000円を繰り入れています。

主な論点 「補助金要綱はあるのか」との問いに「補助金要綱はない。あくまで財政援助という形で出している」「健全な経営ができるよう何らかの支援をすべきではないか」との指摘に対しては「小売店の減少に伴い、売り先がなくて困っている。小売業者をあてにせずに卸売業者が単独で売ること提案している」との答弁がありました。

結果 全員賛成



← 農林水産まつりの様子

一般質問

執行部が審議会の委員長に

河野 朋子 議員

問 今回設置された観光ビジョン検討委員会の委員長は観光協会の会長だが、水道事業管理者も兼任している。そもそも執行部のメンバーが審議会の委員長に就任すること自体問題ではないか。庁議の際に支障が出ないか。任命権者として市長はどのように考えるのか。

答 余裕のある職員には、いろいろなことで市政運営の一翼を担ってほしいと考える。庁議で議題になった時には退室させるか発言を禁止する。



伝統行事の継承を

笹木 慶之 議員

問 長い歴史を経て今日まで守り伝えられてきた文化遺産である古式行事は、本市唯一の無形文化財である。故郷を愛する心とともに後世に継承しなくてはいけない。人的・財政的支援がさらに必要ではないか。

答 運営経費として補助金を毎年交付している。道具の修理は、保存・修理が必要な他の文化財との調整を図り行う。市の関係職員も関わりながら、後継者の育成を図る中で伝統文化は継承されていくべきだろう。



厚狭天神秋まつり
大名行列

空き家の活用で定住促進を

大井 淳一朗 議員

問 優良な空き家は住宅ストックであり、これらを活用することで定住促進につなげることができる。市は空き家の活用についてどのように取り組んでいくのか。

答 活用可能な空き家は、市外からの転入者呼び込み、定住を促進するためのツールとなるし、空き店舗の活用は商業振興のツールにもなる。地域の活性化や交流人口の増加につなげるためにも、来年3月までに空き家の実態把握も含め、一定の方向性を出していきたい。



空き家を活用した
古民家カフェ

厚狭図書館の郷土資料は

河崎 平男 議員

問 厚狭図書館の郷土資料室には、貴重な未指定文化財が保管されている。談合峠出土のシダの化石、中村高山古墳から出土された金製の耳環、教育文化財の蒸気機関車のD51300のプレートなどがあり、その他どのようなものが保管されているか。

答 厚狭図書館の郷土資料室には、三角縁神獸鏡だとか、そういったいろいろな古墳から発掘された文化財が保管されている。



厚狭図書館にある
D51のプレート



一般質問

入居時の保証人緩和を！

中島 好人 議員

問 抽選で市営住宅に当選しても、保証人が2名必要だ。これが難しいことから入居を諦める人もいる。これは、住居に困窮している人を入居させる公営住宅法に反する。国は、「保証人の免除規定の制定及び条件の緩和について」の通達を出している。これを受けて免除、あるいは1名としている市もあるが、本市も検討すべきではないか。

答 近年家賃滞納や迷惑行為等により連帯保証人に連絡を取る事例が増加しており、条件の緩和は考えていない。



有帆団地

シルバー人材センターの活用を

長谷川 知司 議員

問 高齢者雇用対策の一つとして、シルバー人材センターの活用があり、市との随意契約も法律で認められている。

現在、シルバー人材センターには、団塊世代の加入者も増えており、急に仕事量が減ることのないように政策的に配慮すべきと考えるが、市の見解を聞く。

答 関係部署を調整することで、市からの発注仕事量を確認し、変更等が生じることがあれば事前にシルバー人材センターに伝えたい。



ふるさと納税を見直し財源確保を

中村 博行 議員

問 ふるさと納税を重要な財源として捉え、特典品などシティセールスの観点からも工夫して大きな成果を挙げている市もあるが、本市の取り組みと考えはどうか。

答 寄付をいただいた方に、物ではなく、感謝の気持ちを伝えるという考えを貫いている。具体的には、市長直筆のお礼状、サポート大使認定証、職員によるふるさと便りなど良識を持った対応で、市の様子をお知らせしている。今後も観光協会と連携し、PRに努めていく。



サポート大使認定証

アスベスト対策は

松尾 数則 議員

問 市が管理をしている学校建築物をはじめ、公共建築物のアスベスト対策は十分か。

答 市の保有する公共建築物には全てアスベスト対策が実地されている。学校建築物についてはアスベスト除去を行い、安全対策に万全を期している。本年6月に石綿障害予防規則が改正されたので、これから調査を行っていき、アスベストの含有が確認された場合は、除去等の措置を行う。



アスベスト



一般質問

「命」と捉えたら全てが変わる！

吉永美子 議員

問 たくさんの自治体があえて飼い主のいない猫に限定をして避妊・去勢の助成をしているが、動物愛護の観点からそのような助成制度導入と新火葬場への動物炉の設置をどう考えるか。

答 所有者が不明な猫については、市内でもかなりの数いるだろうと推定しているし、現実、苦情も寄せられている。県がどれだけ踏み込んで対策をやっていくのか、また、他市の状況などを見極めていきたい。動物炉の設置は考えていない。



親子でもないのに愛情注ぎ育児中

水道局の資産管理は

小野 泰 議員

問 アセットマネジメント（資産管理）は、効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動を指すが、水道局の取り組み状況及び経費負担はどうか。

答 アセットマネジメントは水道事業健全経営のため必要であり、水道局職員6名からなる策定委員会を設置し、作業に取り組んでいる。経費については、現在特別な予算計上の予定はなく、計画ができた後に財源等について検討したい。



アセットマネジメントに取り組む水道局

機能・役割を果たしている？

岩本信子 議員

問 児童館は、18歳以下の子どもたちが集い、居場所づくりや子育て支援の拠点となる役割があるが、現状はどうか。また、山陽地区での児童館設置はどうか。

答 小野田各校区に7館あり、放課後児童クラブを併設しているが、子どもが多く、児童館としての機能を果たせていない。今後は児童クラブの移設も考慮し、機能を確保できるようにする。総合計画では山陽地区も含め、児童館設置目標値10箇所である。



定員超の高千帆児童クラブ

指定管理業務を明確に

杉本保喜 議員

問 指定管理者制度については、モニタリング及び苦情の処理等のフローチャート(流れ図)を作成し、業務の明確化を図るべきではないか。また、アンケート調査のあり方や市民モニター等の第三者組織の検討も必要ではないか。

答 フローチャートはない。アンケートのあり方や市民モニター等の意見を聞く制度についても大変参考になる意見ということで研究していく。



指定管理されている江汐公園

一般質問

子ども子育て新制度は万全に

山田 伸幸 議員

問 来年4月から子育ての新制度が始まる。早くから取り組んだところでは、今年4月から体制をとって取り組みを進めている自治体もあるが、本市は遅れているのではないか。すでに制度実施に向けた業務は始まっているが体制が弱い。介護保険の包括支援センターのようなものが必要ではないか。

答 人事のヒヤリングを12月頃に行い、翌年4月から体制ができる。介護保険の地域包括支援センターの子ども版のようなものを新しくつくる方向で検討したい。



地域包括ケア体制を盤石に

岡山 明 議員

問 認知症高齢者等を含め、「医療・介護・予防・生活支援・住まい」の連携、即ち地域包括ケアシステムの確立こそが重要な対策になる。現在、包括支援センターを中心にして、サブセンターは5ヶ所だが、地域包括の体制を盤石にするためにも設置場所の増加、地域割等の基本的な計画はあるのか。

答 現在取り組んでいる計画を考慮しながら、さらにサブセンターを増やしていくかどうか、検討していきたい。



スポーツ基金の創設を！

伊藤 實 議員

問 本年度からスポーツによるまちづくりに取り組んでいるが、さらなる本市の魅力を発信するためにも、全国大会などに出場すれば補助金を出すだけでなく、各競技の日頃の練習環境の整備、向上を図るべきではないか。本市には、ジュニアゴルフ全国大会で厚狭小の児童が優勝するなど有望な選手が育ち、東京オリンピックに出場できる選手の育成など、今こそ財政的な支援が必要ではないか。

答 具体的な提案で賛成である。



優勝した細野勇策選手

白井市長発言の真意は何か？

下瀬 俊夫 議員

問 5月に開かれたある会の総会で、市長は「議会が議会改革の名のもとに危険な方向に向いている…」と述べた。発言の真意は何か。

答 本市の議会改革はもう少し工夫があってもいいのではないかと。①人事案件が審査される全員協議会は公開が望ましい。②議会内に特定の議員へのいじめに似た責任追及がある。③議会報告会で議員個人の発言に制約があるのはどうか。④議長権限が強くなると、議員活動が萎縮する。⑤某議員の討論の会議録からの抹消は議長権限を超えており、危険だ。



市議会本会議場



視察報告

◎民生福祉常任委員会

視察者 ■ 下瀬俊夫 矢田松夫 石田清廉
岩本信子 小野 泰 三浦英統
吉永美子

視察日 ■ 8月4日～6日

愛知県豊田市<幼保一元化>

- ①「子ども条例」と「子ども総合計画」
平成19年9月議会で「子ども条例」可決
平成22年から5年計画の「総合計画」策定
- ②「子ども部」設置
平成13年 幼稚園と保育園を統合して市長
部局に子ども部を設置し、総合窓口
- ③幼保一元化と認定こども園
昭和41年 「私的契約児」を保育園で保育
昭和45年 幼稚園教諭と保育士の名称統合
平成20年 幼稚園・保育園をこども園に
- ④「子ども会議」の設置
平成20年 条例に基づき子ども会議設置

愛知県犬山市<ゴミ焼却場民間委託>

- ①ゴミ焼却場の包括民間委託
平成18年から8億円で大規模補修工事
処理能力 45t/24h × 2炉 ストーカ方式
瑕疵(かし)担保期間に包括委託を行った。
- ②「包括委託」契約を打ち切る理由
瑕疵担保期間が終了したので打ち切る。
2市2町による広域処理施設建設の計画

岐阜県可児(かに)市<Kマネー事業>

- 社会貢献システム「Kマネー」事業
市民の社会貢献ボランティアと商業振興を
セットにした地域通貨「Kマネー」事業
ボランティアで年間100ポイント(1万円)
住宅リフォーム助成金(予算3000万円)を「K
マネー」で支給している。
「Kマネー」を将来は1億円規模にしていく。



↑各務原市の火葬場外観

岐阜県各務原(かかみがはら)市 <火葬場建設>

- ①火葬場建設の経緯
平成14年スウェーデン・ストックホルム市
の森の斎場、青山墓地、円覚寺庭園などを念
頭に公園墓地をコンセプトに設計した。
- ②火葬場の特徴
供用開始 平成18年6月
総事業費 13億1679万円
(うち合併特例債11億1350万円)
火葬部門 人体6基(うち増設1基)
動物1基
待合部門 和室1 洋室2
- ③施設内でコンサート
火葬場が休日で友引の日に、ホールで年数回
の無料コンサートを実施し、120席が毎回満
席である。
近くに3003区画の公園墓地があり、散歩や
ジョギングコースになっている。



←各務原市の火葬場の
エントランスホール



視察報告

◎会派「市民クラブ」、会派「進化」

視察者 ■ 矢田松夫 尾山信義 長谷川知司
伊藤 實 三浦英統 松尾数則
大井淳一朗

視察日 ■ 8月19日～21日

<三重県四日市市>

- ①通年議会、文書質問
- ②議員提案による条例の制定
- ③シティミーティング（市民との意見交換会）

<大阪府枚方市>

- ①全員協議会及び委員会記録の公開
- ②災害発生時対応要領

<京都府亀岡市>

- ①委員会資料の公開
- ②予算決算特別委員会のネット中継
- ③市議会フェイスブック

<考察>

改革度全国1位の四日市市を初め、議会改革の先進地を中心に視察した。本市議会が導入していない委員会中継や市民モニターなどは、開かれた議会の実現のために不可欠である。また、議会報告会の参加人数など共通した課題について意見交換することができた。さらなる改革を進めていくために今回の視察結果を生かしていきたい。



←四日市市議会の議場

ニュース

議員研修会に参加しました

山口県市議会議員研修会

8月12日（火）周南市新南陽ふれあいセンターで行われた市議会議員研修会に21名の議員全員が参加しました。

【講演内容】

第1部「地方議会改革の方向性」

（政策研究大学院大学 横道清孝副学長）

第2部「地域医療と自治体病院」

（高知大学医学部 阿波谷敏英教授）

1部では議会の取り組むべき大きな方向性を、2部では地域医療再生のための取り組み等認識を新たにする意義深い研修でした。



ニュース

ごっぼう ええ まち 創るっちゃ

政策討論会

8月25日（月）魅力ある山陽小野田市としての将来像について、市議会全体としての共通認識とその実現に向けた政策提言を行うため、各議員が意見交換をしました。

「住みよく、活力ある本市の将来像は」「抱えている問題点、課題は」「必要な要素は」また、「それを実現するための具体的施策は」について活発な討論がありました。

これからこの討論会で集約された事項の調査・研究を各常任委員会で行います。



議決結果

◎議案に対する議員の賛否状況

9月定例会で議案等29件を審議し、賛否の分かれた15件を掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。全議案の審議結果は、市議会ホームページに掲載しています。

平成26年9月定例会 議案の審議結果	議決結果	議員名																				
		石田清廉	伊藤實	岩本信子	大井淳一朗	岡山明	小野泰	尾山信義	河崎平男	河野朋子	笹木慶之	下瀬俊夫	杉本保喜	中島好人	中村博行	長谷川知司	福田勝政	松尾数則	三浦英統	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子
平成25年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
平成25年度山陽小野田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
平成25年度山陽小野田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
平成25年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
平成25年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
平成25年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	×	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度山陽小野田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
平成25年度山陽小野田市病院事業決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
平成25年度山陽小野田市水道事業決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
平成26年度山陽小野田市病院事業会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	×	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
山陽小野田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
山陽小野田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
山陽小野田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
山陽小野田市保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
新ごみ処理施設の民間委託による包括運転管理に関する請願書	一部採択	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 ー：棄権又は欠席 尾山信義議員は議長であるため賛否の結果はありません。

◎議会改革はさらに前進しています

■傍聴者へ議会資料を配布

これまで議会の傍聴者には資料を貸与していましたが、会議の内容をより深く理解してもらうため、当日の審議に使用される資料を配布することにしました。なお、資料についてはホームページでも公開しています。

■市民モニターを検討中

議会のあり方調査特別委員会では、市民からの意見や提言などを議会運営に反映するため「市民モニター」の設置を検討中です。また、議会改革の一環として「委員会のインターネット中継」も実施に向けて検討中です。ご期待ください。

■フェイスブック始めました

本市議会の情報発信の充実のため、市議会フェイスブックページを開設しました。

山陽小野田市ホームページ→市議会のバナー→広報広聴のフェイスブックページ

市議会の活動内容をスピーディに写真とともに掲載しています。ぜひご覧ください。皆様の「いいね!」をお待ちしています。



お知らせ

12月定例会会期日程(予定)

本会議の日程

12月定例会の日程(案)をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

月 日	本会議
11月27日(木)	議案上程・説明
11月28日(金)	質疑・討論・採決
12月 8日(月)	一般質問
12月 9日(火)	一般質問
12月10日(水)	一般質問
12月11日(木)	一般質問
12月12日(金)	一般質問
12月17日(水)	質疑・討論・採決

編集室より



うれしいニュースとして、平成15年に分譲開始された小野田・楠企業団地に、このたび初めての企業進出(大森配送センター、周南市)があり、10月に市と進出協定を締結しました。

議会もこれまで企業誘致特別委員会を立ち上げ、精力的に取り組んできました。これを契機にさらに企業進出が増えていくよう行政と力を合わせていきます。

◎広報広聴特別委員会議会広報部会

委員長 三浦英統 副委員長 山田伸幸
 部会長 河野朋子 委員 岩本信子
 委員 大井淳一郎 委員 河崎平男
 委員 笹木慶之 委員 下瀬俊夫



《表紙の説明》 山陽小野田市がレノファ山口のホームタウンになったことから、市議全員が参加する議員連盟が発足しました。さっそく代表者を招き、チームコンセプトの説明を受け、さらにJ3昇格のかかった試合を応援に行きました。